

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------------|------------|
| I. 理念に基づく運営 | 22 |
| 1. 理念の共有 | 3 |
| 2. 地域との支えあい | 3 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 7 |
| 5. 人材の育成と支援 | 4 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 10 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 3 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 38 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 30 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 8 |
| V. サービスの成果に関する項目 | 13 |
| 合計 | 100 |

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

| | |
|-----------------|------------------|
| 事業所名 | ガーデンコート常盤平 |
| (ユニット名) | ユニット① |
| 所在地 (県・市町村名) | 千葉県松戸市常盤平1丁目13-7 |
| 記入者名 (管理者) | 藤代 弘 |
| 記入日 | 平成 20 年 12 月 9 日 |

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) | |
|--------------------|--|---|----------------------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | |
| 1 | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | 「接点」の言葉を挙げ、日々機会がある時には話しをしています。 | ○ | 日々業務に追われて、ついつい忘れがちになっていますので、改めて意識付けをしていきたいです。 |
| 2 | <p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | 現場フロア内の各階に掲示し、いつでも目にする事が出来るようにしています。 | | |
| 3 | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | 運営推進会議や家族へのおたよりの中で、浸透していただくよう内容に取り入れています。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | |
| 4 | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | 町内会主催の防災訓練への参加や、町内の理容店の利用、日々の生活の中でも積極的に挨拶などを行うように努めています。 | ○ | 町内活動のクリーン作戦や夜の見回り活動への参加にも取り組んでいきたいです。 |
| 5 | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | 職員が入居者と散歩の時、ご近所の方と会話をしたり、時にはお花を頂いたり、触れ合いに対して前向きに取り組んでいます。 | ○ | 散歩時にお会いした方が、ガーデンコートに遊びに来てくださるよう声を掛けていきたいです。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|---|------|---|
| 6 | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | まだまだ出来ていませんが、会議の時などに話し合いはしています。 | ○ | コミュニティーの場として利用して頂けるよう、外出時など来訪して下さるよう声を掛けて取り組みたいと考えています。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 今迄何度か評価を受けて取り組んできましたので、理解はしております。その都度、評価結果は会議で伝えて改善策に取り組んでおります。 | ○ | 評価結果を良く受け止め、改善に向けて取り組んでいきます。 |
| 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 評価の報告を行い、改善に向けた色々なご意見を聞き、サービスの向上に活かしています。 | | |
| 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 事業所研修会への参加をしております。今後も行き来する機会があれば、積極的に取り組んでいきます。 | | |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 今後、学ぶ機会を持っていきたいと思えます。 | | |
| 11 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 10月のスタッフミーティング時に学ぶ機会を作り、講師の説明を受けました。 | ○ | 学習した事を活かし、皆で意識を持ち、防犯に努めていきたいです。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|--|---------------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には、ご家族に分かり易いようゆっくと説明し、途中質問があれば受け付けながら、時間をかけて十分理解・納得を図っています。 | ○ 今後も継続していきます。 |
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 正面玄関入り口に意見箱を設置しています。来訪時には、なるべく話す機会を設けて意見を聞いたり、職員の意見も聞き、取り組んでいます。 | ○ 今後も継続していきます。 |
| 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 電話や通信などを利用して報告しています。又、来訪時などにも報告するようにしております。 | ○ 今後も継続していきます。 |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | そのような事が発生した時には、速やかに話し合い改善に向けて取り組んでいます。 | |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月一回のミーティングの場を設けております。又、日々の申し送りの中でも機会があります。 | |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 12月から4交代制の導入で、より一層柔軟に対応出来るよう、調整しています。 | ○ 実際を実施してみて、役割分担の不具合などの調整を、更に努めていきます。 |
| 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 定期的なスタッフ個人面談の実施を予定していますが、なかなか実施に至っておりません。 | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|---|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新人研修の実施やミーティング時の研修の実施、又日々の業務の中でも各フロアリーダーのもと、指導等を行っています。 | ○ ミーティング時の研修の回数を増やしていけるよう取り組んでいきたいです。 |
| 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 運営推進会議に参加して頂き、交流する機会を作り、お互いのサービス向上に取り組んでおります。 | 今後も同業者と交流する機会があれば、積極的に取り組んでいきたいと考えています。 |
| 21 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 月一回のミーティングの場で話し合います。又日々、相談があれば対応しております。 | |
| 22 | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 個人面談をもって、取り組んでいきたいのですが、なかなか実施に至っていません。 | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 本人から聞き取れないときには、ご家族に色々話しを聞き、初期は特に、十分注意を払いながら受け止めるよう努めています。 | ○ 今までの経験を活かし、更に受け止めていくよう努めていきます。 |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 初期の頃は特に、ご家族も不安が多いと思いますので、こまめに連絡を取り合い、何でも話しやすいよう心掛け、求めている事を良く聴くように心掛けています。 | ○ これからも継続していきたいと思っています。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|------|---------------------------------------|
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談を受けた時に、まず今一番困っている事に対し、何がふさわしいか良く見極め、提案なども出来るよう努めています。 | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前には、本人・ご家族様に見学をしていただき、可能であれば一緒にお茶を飲んだり、会話をしたりと雰囲気に馴染めるような機会づくりをしています。ご家族に参加して頂くこともあります。 | ○ | 今後も継続していきます。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 接点をモットーに入居者様と触れ合う機会を常に持ち、勉強になる事もたくさんあると職員から聞いております。 | ○ | これからも、たくさんの触れ合う機会づくりをしていきたいと考えております。 |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 来訪時に職員は、常にご家族と会話をするようにしています。その中から、ご家族の思いや考えなどを聞き、情報を得ながら関係づくりに努めています。 | ○ | 今後も継続して、良い関係づくりをしていきたいと考えています。 |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | ご本人と家族が、ゆっくりと時間を過ごす事が出来るよう環境づくりに努めています。 | | |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族の協力も頂きながら思い出の場所へ外出したり、親戚の方々が来訪して下さった時には、気持ちよくお出迎えし、また来ようと思って下さるような支援をしています。 | ○ | これからも、たくさんの方々が来訪されるよう努めていきたいと考えております。 |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 入居者同士が関わっている時には、そっと見守るケアを行い、孤立してる方に対して声を掛け、淋しさを与えないよう努めています。 | ○ | これからも継続していきます。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|--|------|---|
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 利用が終了しても必ず、何かありましたらご連絡くださいと声を掛けるようにしております。 | ○ | 今後も継続していきます。 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | まずは、ご本人の意見を尊重するケアを心掛けています。それぞれの特徴をよく理解し検討するようにしております。 | ○ | 現状、ご本人の意向がなかなか聞き取れない時も多くあり、これからの課題と考えております。 |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居してからも、本人やご家族からの話の中からも、経過が把握できるよう常に心掛けています。 | | 今後も継続していきます。 |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 日々の中で、十分観察を行い、変化等が見られる時には、申し送り時などに情報を共有し把握に努めています。 | ○ | これからも、更に情報の共有化をしていきたいと考えております。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 定期的に介護計画をみなおしております。その時の状況や家族の意向なども十分取り入れながら作成しております。 | ○ | 今後も継続していきます。 |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 状況の変化に応じ、定期以外にも計画作成することはありません。その時には必ず関係者の意見も取り入れております。 | ○ | 今後も色々な意見を聞き、参考にしていきたいと考えております。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|--|------|---|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 一人一人の個人記録にその日の様子や変化などを書いてあるので、日誌も参考にしながら介護計画の作成をしています。 | ○ | 現状を知ることが大切で、個人日誌には十分に参考になることが掛かれています。これからも参考にしていきたいと考えています。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 出来る限りの中で、対応するようにしております。 | | 今後も継続していきたいと思っております。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 民生委員や近くの理容店、在宅支援センター等の協力を得られるようにしています。 | | |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 常に、見学対応は出来る限り行なっています。そして、お互いの情報交換などをしながら支援につなげています。 | | 社会資源をお伝えし、その情報の中からご本人、ご家族の意向で方向性が出てくるのではと思いますので、これからも伝えていきたいと考えております。 |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 必要があれば、担当者会議へ参加したり相談をさせて頂いております。 | | これからも、地域包括支援センターや在宅介護支援センターとの関わりを多く持っていきたいと思っております。 |
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人、ご家族の意向を尊重し、納得した上でご利用していただいております。医療機関も柔軟に対応してまいります。 | | 今後も継続して医療連携に努め、ご本人、ご家族に安心して頂けるようにしていきたいと考えております。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|---|------|---|
| 44 | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | ご家族の意見やご本人の状況などが医師に伝わるよう努めております。時には、ご家族に往診に立ち会って頂き、直接、相談していただくこともあります。 | ○ | 今後も、ご本人、ご家族の不安を少しでも取り除くことが出来るよう、継続していきます。 |
| 45 | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 看護師がいる時には、入居者の健康チェックを相談したり、ケアする上での医療面から見てのアドバイスなども頂いております。 | | 今後も継続していきます。 |
| 46 | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | ソーシャルワーカーとの連携やご家族様との連携をとり、又、ご本人様に定期的にお会いさせて頂きながら、状況の把握に努めております。 | | 今後も継続していきます。 |
| 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 日々の状況を医療機関へ報告し、早い段階から相談するようにし、ご家族様に早期のうちから相談、連携を取りながら方針を共有するように努めております。 | | 三者が情報を共有し統一して、取り組んでいくことを徹底していきたいと思っております。 |
| 48 | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 施設側として、医療やご家族様に、出来ること、出来ないことはしっかりと伝え、施設側が出来なくともご家族が出来ることなどに対しては、協力を頂きながら、医療、家族、施設が連携を良く取りながら、本人が少しでも安楽に過ごせるよう取り組んでおります。 | | 三者が情報を共有し統一して、取り組んでいくことを徹底していきたいと思っております。 |
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 情報の共有化を図ることにより、ご本人を良く知り、ダメージ防止につながると思います。また、ご家族に協力頂き、ご本人にとってダメージを少しでも少なくしていけるよう、協力し合い取り組んでおります。 | ○ | 個々の状況に応じて協力し合い、これからも取り組んでいきたいと考えています。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|---|
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人記録は所定のところに置くようし、いつも同じ場所で使用しています。また、敬語での対応を指導し実施しています。 | 今後もプライバシー保護に配慮した対応を実施していきたいと考えます。 |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | ケア方法の中で、説得するのではなく納得してもらえるようにケアすることを、常日頃から職員に指導しています。あくまでも、本人の意向尊重と本人のペースに合わせたケアに取り組んでおります。 | ○ 今後も心がけ、継続して実践していきたいと思います。 |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員の指導はありますが、あくまでも入居者優先に動くよう指導しております。それぞれのペースや特徴を良く知り、情報を共有し希望に沿えるよう支援しております。 | 認知症状の進行が段々とあり、意思表示も困難になりつつある入居者も降りますが、情報共有することにより、些細なしぐさから表現が現れ、分かることもありますので、特に情報共有に力を入れていきたいと思います。 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 希望によっては理容店に行く方もいます。又、定期的に理容の実施は全員、行なっております。又、ご家族に協力して頂き、本人の好むような衣類を持参して頂いたり、自室にくしや化粧水など置かれる方もいます。 | ○ 今後も希望があれば、安全を考えながら対応していきたいと思います。 |
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 出来る方と困難な方がいますが、極力、残存機能に応じて手伝って頂いています。 | ○ 出来ることを増やしていきたいと思います。 |
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 一緒に買物へ行き、好きそうな物を選んで買って頂く時もあつたり、代行で買ってくることもあります。又、ご家族の協力で持参して下さることもあります。 | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--|---|------|---|
| 56 | ○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 個人日誌の活用で、排泄のパターンを知るようにしています。又、頻尿により不快感などがある方に対しては、医療に相談し気持ちよく安心して排泄が出来るよう相談することもあります。 | ○ | 今後も継続して実施していきます。 |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 拒否がある時には、無理せず、本人の希望を尊重しています。基本は午前中ですが希望があれば、午後に対応することもしています。 | ○ | 今後も継続して実施していきます。 |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | あくまでも、本人の希望を尊重し、本人の眠りたい時に入眠して頂きますが、あまり不眠が続くような場合は、健康面を考え誘導する時もあります。 | ○ | 今後も継続して実施していきます。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 定期的な行事の実施や少しの時間でも外出し、外の空気を吸い、町の風景を見て気晴らしが出来るよう支援しています。また、家族の来訪時に、水入らずで外出もしております。 | | これから寒くなり、外出する機会も段々と少なくなっていくと思われませんが、その中でも少しでも多くの外出を支援したいのです。又、ご家族の協力ももっと複数の方に協力いただけるよう支援していきたいです。 |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | おこづかいのご家族よりお預かりしておりますが、買物同行の時など、本人にそのお金を渡し買物して頂くこともあります。 | ○ | まだまだ機会が少なく、少数の人しか体験されておられませんので、これから一人でも多くの方に体験して頂けるよう、取り組んでいきたいです。 |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | なかなか、外出の希望がないのが現状です。こちらから誘導し、外出して頂くと、帰ってきた時には嬉しそうな笑顔で戻ってこられます。 | ○ | これからも、外出支援に時間をとっていただけるよう取り組みたいです。 |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 施設がなかなか困難な状況がありますので、ご家族様に協力と理解を頂き、出かけて下さっています。 | ○ | 一人でも多くの方が家族と楽しい思い出が作れるよう、日常生活の会話の中で本人の希望などが聞き取れる時には、ご家族に相談し対応して頂ける中で、取り組んでいきたいと思っております。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|--|------|---|
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 入居者様から手紙を出すとか電話をするなどは、今の現状、困難な方が多く来ていませんが、ご家族から手紙が来る方は複数おられ、本人に渡すと喜ばれています。 | ○ | これからも、継続して一人でも多くの方にお手紙が届くよう取り組みたいです。 |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 希望や機会があれば、一人でも多くの方が来訪下さるよう対応しております。但し、家族のそれぞれの事情等も踏まえて、初めて来訪して下さるような方の場合、念のため、家族に報告し許可を頂いてから対応することもあります。 | ○ | 今後も継続していきます。 |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 月のミーティング等でも話し合う機会を作り、理解するよう取り組んでいます。又、日々の申し送り時にも対策の中で拘束しないケア方法に取り組んでいます。 | ○ | 今後も継続していけるよう、日々取り組んでいます。 |
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | ドアにメロディーホンで対応し安全の確保に取り組んでいます。又、外へ出たい希望が出た場合には、職員と一緒に外出するよう対策をとっています。 | | 今後も継続していけるよう、日々取り組んでいます。 |
| 67 | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 職員同士、声掛け、目配りを重視していくを指導を実施し、常に見守り重視のケアを実施しています。又、夜間も1時間に1回は居室の巡視をしています。 | ○ | 今後も継続していけるよう、日々取り組んでいます。 |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 高い位置に保管したり、カーテンなどで目隠しをしたり、使用時に物品を下ろして使用したりしています。又、見守りを重視するようして回避しています。 | ○ | まだまだ、取り組んでいてもヒヤリ・はっとすることは多くありますので、今後も徹底していきたいと思います。 |
| 69 | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 日頃の業務の中で、ヒヤリ・はっとしたことを書面に書き、情報を共有し合い、事故の防止に努めています。 | ○ | 今後も継続していきます。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|------|--|
| 70 | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 現場と職員の休憩場所にマニュアルを置き、いつでも読めるようにしております。特に夜勤帯の落ち着いた時に読むことが多いです。又、ミーティングの時も議題にのせ話し合っております。 | ○ | 今後は、定期的に継続して訓練を取り入れ、職員全員が理解出来るよう取り組みたいと考えています。 |
| 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 運営推進会議などでも取り上げ、話し合う機会を作っております。 | ○ | もっと地域の方に理解と協力を頂けるよう、町会の役員様を中心に協力し合いながら取り組んでいきたいです。 |
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 援助計画を作成し、ご家族との話し合いの場を持ち、リスクに対し家族に十分説明しております。又、一方的でなく、家族の意見や希望なども取り入れ、家族も一緒に取り組んでいます。 | ○ | これからも良い事ばかりでなく、リスクも十分伝えていながら、対応するよう取り組んでいきたいです。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 日々、体調変化には十分気を配り、すぐに異変が見られる時には報告をあげることを指示徹底しています。又、報告を受けた時には、速やかに医療機関へ相談と家族への報告を実施し、スタッフは申し送り時に伝えています。 | ○ | 今後も継続し、お客様の安全のためにも取り組んでいきたいと思えます。 |
| 74 | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方された薬は確実に服薬して頂くよう、確認の徹底をしっかりと行なっています。そして、症状に変化が見られるときには、すぐに報告をあげることを指示・指導しています。また、薬の内容が変わったときには、申し送りで伝達し連絡ノートにも記入します。 | ○ | 薬はとても大切で、時にはリスクの高いものですので、これからも十分に注意を払い取り扱っていきたく思います。 |
| 75 | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 排便チェック表や個人日誌で管理しています。水分の補給や外出の介助、調理の工夫などで取り組んでいますが、どうしても排便がない時には、医療機関へ報告をあげます。 | ○ | これからも継続して支援していきます。 |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | ご自分で出来る方には声掛けし、自力で出来ない方には介助で口腔ケアをしています。 | ○ | 実践していくことと同様、口腔内チェックも実施しています。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------|---|
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | カロリーは1,500calを目安とし、食事・水分の摂取量は毎日記録に残し、個々の目安やいつもの摂取量を把握しています。 | ○ | 先を基準(目安)に確保に取り組んでいます。 |
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | ホーム入室前は職員・来訪者・入居者すべての方々に手洗い・うがいの徹底をしています。消毒に関しても社内感染症マニュアルを参照して、日々実施及び予防に取り組んでいます。 | ○ | 左記に準ずる。但し、来訪者様の手洗い・うがいを再度啓蒙していきたいと考えております。 |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 夜勤者が台所の消毒を行なっています。食材は賞味期限のチェックを行い、期限切れの物は処分することの徹底を行なっています。 | | 左記の内容のチェックを強化していきたいと考えております。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 看板の設置や手作りポスターを玄関に貼ったり、玄関前にはスロープを設置して来訪時、且つ入居者の外出時等、安心して安全に出入り出来るようになっています。 | ○ | 定期的に建物周囲の手入れを今後行っていきたいと考えています。 |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 出来る限り、貼り物、飾りつけを季節ごとに行なっています。フロア内、ソファ、TVなどを設置して、くつろぎやすいテーブル、イスなどの配置を行なっています。 | ○ | 今後、館内の飾りつけなど、職員だけでなく入居者様も出来る限り一緒に作成していきたいと考えております。 |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ソファ、庭や1F玄関のベンチがとても活用できています。ご本人のペースで自由に過ごして頂くよう工夫していきます。 | ○ | 今までも、思い思い過ごされております。今後も出来る限り、皆様に自由に過ごして頂けるよう工夫して、支援していきたいと考えております。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|------|--|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時に、以前から使い慣れた物をご持参頂くよう、ご家族に協力いただいたり、入居後も不足な物品等があれば、出来るだけ、今まであった物や、ない時には本人の好まれるような色や柄の物をご用意しております。 | ○ | 今後も継続して、本人が心地よく過ごすことが出来るよう取り組んでいきたいです。 |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 季節によって、温度の設定を変えております。また、全居室に空調があり、よどみがないようまめに動かしております。また、月々の生活の中でも気温変化に応じて申し送り時などに、打合せし換気の配慮に取り組んでいます。 | ○ | 体調変化に影響されますので、これからも敏感になり、こまめに配慮していきます。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 館内には全部、手すりがついております。歩行不安定な方には手すりを使用し、練習したり、バリアフリーになっておりますので、段差なく安全に歩行して頂いております。また、廊下も車イス2台、通れるスペースが確保されています。 | ○ | 今後も手すりやバリアフリーを利用して、歩行練習などに取り組み、身体機能を維持し出来るだけ自立した生活が送れるよう、取り組んでいきたいと思ひます。 |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 入居者それぞれのペースにあわせたケアに心がけ、取り組んでいます。残存機能を活かし、本人の出来るところを伸ばせるよう、個々の力をよく観察し、よく知りながら実施しております。 | ○ | レベル低下がある中で、少しでも本人の出来る事を見つけて出し、心地よく生活して頂けるよう、今後も観察を十分に行ない、1つでも多くの出来る事を見つけていくことに、取り組んでいきたいと思ひます。 |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 正面玄関はスロープになっておりますので、朝のゴミ出しは職員と一緒にしております。また、庭にはベンチがあり、天気の良い日など日光浴をしたり、人によっては水まきなどされている方もいます。 | ○ | もっと、外へ出る機会を増やしていきたいため、春頃になりましたら、以前も実施していた家庭菜園にも取り組みたいと思ひます。 |

| V. サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | ②利用者の2/3くらいの |
| | | | ③利用者の1/3くらいの |
| | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある |
| | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | ③たまにある |
| | | | ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と |
| | | | ②家族の2/3くらいと |
| | | | ③家族の1/3くらいと |
| | | | ④ほとんどできていない |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | | ①ほぼ毎日のように |
| | | | ②数日に1回程度 |
| | | ○ | ③たまに |
| | | | ④ほとんどない |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | | ①大いに増えている |
| | | ○ | ②少しずつ増えている |
| | | | ③あまり増えていない |
| | | | ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | | ①ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | ②職員の2/3くらいが |
| | | | ③職員の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | | ①ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | ②家族等の2/3くらいが |
| | | | ③家族等の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

我々ガーデンコート常盤平では、ホームの理念である「接点」すなわち入居者、ご家族、我々、医療機関、近隣といったホーム内だけでなく、外部との交流などに力を入れ取り組んできました。併設されている小規模多機能サービスと同様、地域交流の場を持ち「接点」を持ち続けていきたいと考えております。更に「安心」「安全」を提供できる意味でも地域、医療機関様との連携も図り、入居者様・ご家族様に「安心」して過ごしていただける環境を今後も強化していきたいと考えております。